

 VICIVISION

光学式シャフト形状測定機

TECHNOシリーズ

スプラインの測定を可能に



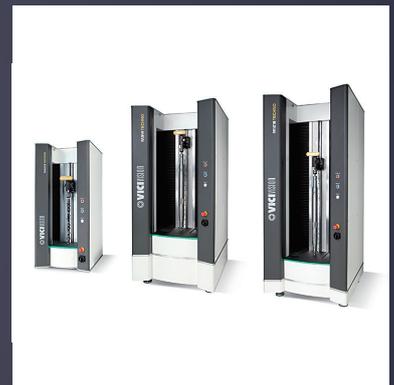
シーケービー
技術部 課長代理

骨谷 友貴氏

「VICIVISION (ヴィチビジョン)」ブランドの「TECHNO (テクノ) シリーズ」は研削ワークを対象とした光学式シャフト形状測定機です。直径40mm～180mm、長さ300mm～2000mmの幅広いサイズのワークを測定できます。両センターにクランプしたワークにLED光を当て、対面のセンサーでワークにできた影を読み取ることで、非接触かつ高精度に寸法や形状を測定します。

最大の特徴は、スプラインシャフトの測定に大きな力を発揮する「コンフォーカル (共焦点) センサー」をオプションで搭載できること。光学式シャフト形状測定機ではスプライン溝の測定が難しく、従来は歯溝に丸ピンや玉を入れ、その丸ピンや玉の間の距離をマイクロメーターなどで測定していました。一方、コンフォーカルセンサーはレンズ先端からワークまでの距離を検出できるため、ワークを一回転させればスプライン溝の輪郭をスキャンでき、測定時間を大幅に短縮できます。

わが社は昨年8月からVICIVISIONの光学式シャフト形状測定機の取り扱いを始めました。スプラインシャフトの測定ができることがTECHNOシリーズの大きな強みですから、日本の中小製造業のお客さまなどに向け、こうしたメリットを今後しっかりとアピールしたいと考えています。



特徴

直径40mm～180mm、長さ300mm～2000mmまでの研削ワークを測定できる光学式シャフト形状測定機。コンフォーカルセンサーや接触式のタッチプローブをオプションで搭載できる。コンフォーカルセンサーはVICIVISION独自の特徴で、従来の方法に比べてスプラインシャフトの測定時間を大幅に短縮できる。

問い合わせ先

株式会社シーケービー

〒150-0002
東京都渋谷区渋谷2-10-6
山田青山ビル
TEL 03-3498-2131

